

## ミャンマー

### 鉄道近代化計画(1)(2) 車両改修事業



マンダレー車両基地で運転中の入換用機関車

#### [ 借 款 概 要 ]

承諾額/実行額	19,134百万円 / 12,334百万円
借 款 契 約 調 印	1982年12月～1984年8月
借 款 契 約 条 件	金利2.25% / 2.75%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1988年12月～1994年6月

#### [ 事 業 概 要 ]

ミャンマー鉄道のディーゼル機関車・客車・貨車の新規調達、改修及びスペアパーツの供給により鉄道輸送力の増強を図るもの。

#### [ 評 価 結 果 ]

本事業においては、3期の円借款を通じ、1985年から93年にかけて、ディーゼル機関車12両、客車163両、貨車240両の調達、機関車・貨車等の補修及びスペアパーツの調達を実施した。また、機関車等の調達においては、できるだけ現地組み立てを行うことにより、車輛生産技術の向上と外貨節約も図られた。

ミャンマーは、開発計画の中で鉄道分野の近代化を重要視して来た結果、1990年以降旅客数、貨物量とも順調に増加しており、本事業による輸送力増強の効果が見られた。近年の鉄道旅客数は困難な経済状況等を反映して頭打ち傾向にあるが、依然国民の足として最重要の位置にあり、貨車輸送も過去10年継続して全体の輸送量の50%以上を占めている。

なお、ミャンマー鉄道は、外貨不足による恒常的なスペアパーツ不足と技術者の不足という問題を抱えているため、引き続き、維持管理体制の改善を図ることが課題となっている。